

【自動車整備業の「未来」～小売サイトによる販売戦略～】

7月例会だより



大自青季報

秋
第18号



大阪自動車青年会議所
<http://daijisei.com/>

平成24年10月1日発行

(写真左)(株)プロトコーポレーション
GOO関西版担当 林 章之 氏

7月度例会が7月5日(木)午後6時30分からたかつガーデンにて開催されました。

金岩会長のあいさつの後、講師の株式会社プロトコーポレーション GOO関西版担当 砂川政人氏、林 章之氏、流通事業部担当 日野昌浩氏を講師にお招きして、例会テーマの『自動車整備業の「未来」～小売サイトによる販売戦略～』についてご講演していただきました。

まず初めに今、自動車整備業の置かれている状態から生き残つていくにはどのような商売形態がいいのかという中で新車販売や中古車販売などの車両販売の方法、既存の顧客の問い合わせ方法、インターネットを使った販売方法などが話されました。

インターネットを利用する販売方法では、ネットの具体的な活用方法に始まり実際の体験談や販売店の声などもお話しいただきました。また、これからの新しいインターネットを使った販売方法、もつともつと便利で尚且つ安心、安全なネットでの販売方法などもお話しした

だけ、これから自動車整備業にインターネットがいかに必要であるかということとインターネットによってまた新たな明るい展望が開けることを学べる非常に有意義な例会となりました。

大募集！！ 平成24年度新入会員

大阪自動車青年会議所では我々と一緒に活動していただける新入会員を募集しております。

大阪府下で自動車整備を営んでいる方で、45才までの経営者もしくは経営幹部の方なら入会可能です。毎月一回例会を開催し、会社経営に関する事、整備技術に関する事、自己のスキルアップにつながることなど、同世代の仲間が集まって切磋琢磨しています。

あなたも是非この機会に例会に遊びに来てください。そして我々と一緒に活動しませんか。

お問い合わせは大阪自動車青年会議所事務局
社団法人 大阪府自動車整備振興会内 担当 宮城
TEL: 06-6613-1191 (振興会 代表番号)
ホームページアドレス <http://daijisei.com/>

例会だより (家族例会)



みんなでバーベキュー



マス釣り



釣ったマスを食べました



みんなで記念撮影

平成24年8月5日、千早赤坂村の千早川マス釣り場にて今年も恒例の家族例会が盛大に行われました。

この日も猛暑日で暑い日でしたが、千早川でのマス釣りはとても涼しく快適に過ごせました。

竿を持つて自分でえさを付けてそして魚を釣り上げる、普段なかなか体験できないマス釣りを大自然のなか親子で楽しんでいた。だくことができ子供たちにも大変喜んでいただけたと思います。

昼食には午前中に釣り上げた魚を塩焼きと唐揚げに調理してもらいおいしいバーベキューと一緒にいただきました。いつも忙しくされている会員メンバーをはじめ支えていただいているご家族の方々にも楽しい時間を過ごしていただけたかと思います。

皆様の笑顔で無事家族例会が成功できることに感謝いたします。

最後になりましたが設営準備をしていただき総務委員会の皆様をはじめ参画していた、だいたい会員メンバーにお礼を申し上げます。



近畿地区自動車青年協議会 観察研修報告



去る8月26日(日)～27日(月)にかけて、近青協情報委員会にて、本年度の観察研修として広島県へ行って参りました。

本年度の情報委員会は「エコカー技術をもっと知ろう」～内燃機関の未来～をテーマに活動しております。テーマに基づいて現在内燃機関で低燃費を実現しているスカイアクティブエンジンを開発した「マツダ」の本社（マツダミュージアム）がある広島方面への研修となりました。

また広島県内にて独自のCSメニューで多くのユーザーを獲得されておられる。「マツダオートザム安古市」様へ観察も行って参りました。

初日の26日は日曜日ともあって、広島県内の名所を巡る、観光が中心となりました。宮島の厳島神社、そして広島市内の原爆資料館、原爆ドームなどの見物となりました。夜の懇親会では、各県のメンバーさんと名物の食材に舌鼓を打ちながら、おいしいお酒で楽しいひとときとなりました。その中でとても印象的な出来事が一つありました。二次会での懇親の中で、滋賀県のメンバーさんがカラオケで「Mr, Children」の「口笛」という歌を歌っているとき、色々なメンバーさんが自然と集まり、さながら昔の青春ドラマのように肩を組んでメロディーに合わせて体を揺らし、みんなで大声を張り上げて一緒に歌いだした事です。この歳になって同じ方向を向いている方々とまさしく心ひとつになれたことが今の私の原動力になっております。

27日は研修として、マツダオートザム安古市様へ。日本の自動車業界と共に躍進し続け、さらなる目標を掲げておられるのがとても印象的でした。会社の雰囲気もとてもよく、社員さんの動き見ただけでスキルの高さが垣間見える程でした。自社に戻って取り入れるべき刺激を受けました。会社として明確な目標を社員全てで共有し、目標をクリアされ、徐々にハードルを上げて会社全体で躍進されています。ユーザー獲得、CSメニューを独自の方法で行っているところもまたとてもいい勉強となりました。

午後からは「マツダミュージアム」へ。マツダの歴史がわかり易く、現在に至るまでの様々な自動車が展示され、とりわけ昔の自動車にはメンバーさんそれぞれの思い入れがある様で、細部まで細かく見物し、一緒に写真を撮るといった光景があちこちで見られました。

2日間を通して、近青協のメンバーさんとの親睦が図れしたことや、いつも携わってる自動車の事、そして会社観察を通して、普段の業務により一層活かせる事に繋がったと確信しています。

今年度の情報委員会の活動はこれで終わった訳ではなく、11月に開催される近青協合同例会での発表に向けてより一層各県と親睦を図り、充実した内容にする努力を図りたいと思います。

例会だより（9月度例会）



9月度例会が平成24年9月6日（木）にあいおいニッセイ同和損害保険（株）フェニックスタワービルにて開催されました。

『「次世代自動車の急増」～フロント業務は大丈夫？～』をテーマに、講師にあいおい保険自動車研究所の清宮隆氏をお招きしました。

これから次世代自動車がますます普及、急増していく中で、我々自動車整備業は既存のお客様の減少を抑えて新技術に対応していかなければならないという話に始まり今、自動車整備業に本当に必要なのは如何にお客様と親密な関係を築き、次世代自動車に対応する我々の技術を売っていくフロント業務の大切さを学びました。

これからも厳しい時代が続くなかで我々自動車整備業はただただ車を整備してお金を戴くことだけではなく、人と人同士の絆で生涯お付き合いさせていただけるように接客をしていくことが大事になってくるということに気づかせられる例会となりました。



カーライフ・エッセイスト吉田由美

「女性のパワーで女性のハートを掴め！」

このところ、どこの業界でも女性にターゲットを絞って、いろいろなプロモーション活動を展開していますが、自動車業界でも女性向けのイベントが目白押し！これまで”女性向け”的のものは結構ありましたが、最近は以前より”本気”に取り組んでいるような気がするのは私だけでしょうか。

ここ最近では、三菱自動車が「新型ミラージュ」のキャンペーンの一環としてメイク教室やカラー診断などを行ったり、メルセデスベンツが、初の女性向け安全運転体験イベントを開催。このところメルセデスベンツでは、広報やマーケティング部に女性社員が増え、その女性たちが中心となって、女性向けのイベントを企画、開催。しかし当初、社内の男性陣は「女性限定だと人が集まらないし、成功するはずがない」と消極的だったとか。

それでもがんばって開催したものの、募集はフェイスブックだけ。しかし蓋を開けてみると、予想以上の反響。プレゼンテーションにはいつも以上に分かりやすい表現を使いながら、メルセデスベンツに搭載されている最新安全技術の「プレセーフ・ブレーキ」などの最新安全運転装置の体験試乗。

参加女性に話を聞くと、「男性がいると運転などが上手な人にレベルを合わせられるので、ついていくのがやっと。でも、女性だけだと質問などもしやすい」「男性に見られると緊張する」と言った、男性目線を気にする声が多くあったのですが、それが解消されたことで、がぜん女性たちの“やる気スイッチ”が入り、「また開催してほしい」「また参加したい」との声が続出。

海外でも女性向けのサービスは積極的に行われているようですが、やはり、お財布の紐を握って確率が高いのは女性。恋もクルマ選びも、女性のハートを奪ったもん勝ちです！

